遠大なる理想　あふるる友情　不屈の闘志

龍東だより
「ことのは」
［発行者］龍野東中学校　校長　日下博文

第３４号（１月号）
令和５年１月２０日

飛躍の年に！

『令和5年を確かな成長の一年に』

「飛躍のための三学期」

新年明けましておめでとうございます。新しい一年が始まりました。初詣に行き一年間の無事と幸福をお祈りしてきた生徒も多いのではないかと思います。「合格祈願」の絵馬を奉納した人もいるのではないでしょうか。

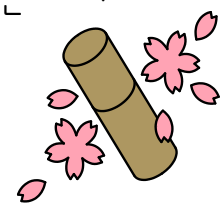
三年生にとっては進路決定を目前に控えた時期で、引き締まった気持ちで新年を迎えたことと思います。一・二年生にはぜひ三年生がどのような気持ちで毎日の生活を送っているかを知ってほしいと思っています。それぞれ一年後、二年後には同じ立場になります。何気ない一年を過ごすのではなく、それぞれの学年で充実した日々を過ごし、確かな成長を遂げてほしいと願っています。

卒業や進級するまでの三ヶ月（三学期）は、自分を「飛躍」させるための重要な学期となります。三年生は進路を決めるだけではなく、進路先で飛躍する力をつける学期、二年生は最上級生として学校をリードできる力を身につける学期、一年生は学校の中心となり新入生のよいモデルとなる力を身につける学期となります。つまりこの三学期は、自分を磨き卒業後や進級後に夢や希望をもって生きていく力を身につける期間となります。それぞれが達成可能な目標を立て、達成に向けて具体策を立て、強い意志をもって実行してくれることを願っています。

さて、保護者、地域の皆様には健やかな新年をお迎えのことと思います。本年も生徒の夢を支え、生徒に寄り添える学校を目指して頑張って参ります。

また、昔から地域の皆様が守り育ててくださった龍野東中を地域の学習の拠点として、今後も皆様と一緒になって子どもたちの安全・安心を守っていきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いします。

「本年度の卒業式」



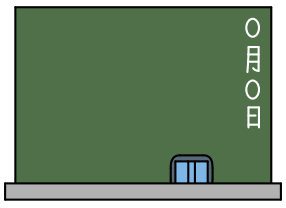
卒業の「卒」には、「終える・終わる」という意味があり、「業」には「なすべきこと・はたすべきこと」という意味があります。つまり、「卒業」には、なすべきことを成し遂げたという意味が込められています。当日受け取る本校の卒業証書には「本校の課程を卒業したことを証する」と書かれてあり、これで「社会に出ても自分の力でたくましく生きていける」という証明書になります。その重みをよく理解した上で、卒業までの日々を大切にして過ごしてください。

さて、本年度の卒業式ですが、市教育委員会からの指示をもとに、近隣の中学校（龍野西中）とも協議の結果、次のようにさせていただくことになりました。

★コロナ感染症が二類相当である限り
・時間を短縮して行う。
・来賓の参列は、自粛していただく。
・保護者の参列制限は行いませんが、できるだけ少人数で参加してください。
・在校生の参加は、代表者のみとします。
・全体での合唱は行いません。

★コロナ感染症が二類相当から引き下げられた場合は再検討します。

地域の皆様も含め、一人でも多くの方々に御参列いただき、卒業していく生徒たちを共に祝福していただきたいという思いはありますが、式の二日後が公立高校の一般入試ということもあり、右記のようにさせていただくことになりました。ご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。



「オープンスクール」

今年度の目標の一つに掲げていた「地域や保護者に開かれた学校づくり」ですが、九月の第七波の流行以降、地域や保護者の方々にほとんど解放できないまま現在に至っていることを大変心苦しく思っています。

つきましては、延期しておりました二学期のオープンスクールを二月二日（木）に実施させていただきます。午前中だけの解放となりますが、是非ご来校いただき、学校や生徒の様子をご覧ください。

「私の年末年始！」

生徒にも伝えたのですが、自分が年末にコロナに感染してしまいました。喉の痛みと微熱が続きましたが、軽症であったことや休業中であったことが不幸中の幸いでした。しかし、私が感染したことで、行動制限がかかり、家族に不自由をかけたことや年始に年老いた両親に会えなかったことをとても悔やんでいます。これまでとは違う心さみしい年末年始になりました。